

# 防災キャンプ 2017in 京都 (北部)

防災キャンプ 2017in 京都（北部）の様子を紹介します。

実施日時： 平成 29 年 7 月 30 日（土）13:00～31 日（日）15:00  
（日帰り：7 月 31 日（日）10:00～15:00）

実施場所： 与謝野町立中央公民館

参加人数： 123 名（2 日間）・・・参加者、協力者、スタッフ含む

活動内容：



学び①「阪神淡路大震災被災体験」



阪神淡路大震災語り部



体験①「救急救命講習 消火訓練 煙体験」



宮津与謝消防組合宮津消防署加悦谷分署



体験②・制作「段ボールパーティション制作」



舞鶴市レクリエーション協会



**非常食体験①「パッククッキング 防災 BBQ」** 京都 BBQ 協会 日本防災士会京都府支部



**体験③(大人)「避難所運営ゲーム HUG」**

**京都府教育庁指導部社会教育課**



**体験③(子ども)「災害が起きたとき何が出来る？」**

**京都府災害ボランティアセンター**



**体験④「班別ミーティング」避難所生活体験**

**京都学生 FAST**





朝の体操「与謝野町ひまわり体操」



与謝野町スポーツ推進委員会



非常食体験②「アルファ化米 みそ汁」



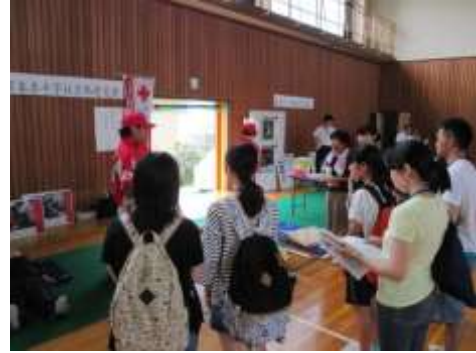
学び②体験⑤「まもるいのち ひろめるぼうさい」



日本赤十字社京都府支部







体験⑥「防災に関する 体験・見学ブース」



非常食体験③「カレーライス」 自衛隊京都地方協力本部 与謝野町婦人会



学び③体験⑦「災害救助犬の活動を知ろう」

NPO 災害救助犬ネットワーク



ふりかえり



閉講式

### 参加者の感想より

- 心肺蘇生法、見学ブースなどいろいろなことが知ることができよかったです。災害があつたときでも落ち着いて行動できるよう、友達や知っている人などみんなに習ったことを教えてあげたいです。(小学生)
- 消火訓練で消火器が使える時間は15秒だけということ、消火器で火元かけると周りが白くなって何も見えなくなることがわかりました。避難所生活での食事体験で、お米を洗わずにお鍋で作ることは初めてでびっくりしました。みんなの持って来た缶詰を半分入れて作ったシチューも意外とおいしくてびっくりしました。いろいろなことを知ることができ、もし災害が起きた時はこのことを生かしていこうと思いました。(中学生)
- 災害が起きた時、どのような人々がどのようなことをしているのか、また、自分自身がどのように動けばいいのかとてもよく学びました。学校の授業だけでは、十分に知ることができなかつたことばかり体験することができ、私にとって防災キャンプに参加できたことはとてもよい経験となりました。(高校生)
- 防災と言っても何をどう防いだらいいのかわからずにいました。参加してとにかく協力し、今自分ができるところをしたらいいのかなと感じました。避難所での生活体験を通し、電気や水が通った状態でも大変だと感じました。HUGではいろいろな課題をすみやかに解決していく難しさを感じました。実際には、多くのトラブルが発生すると思います。役割を決める人、従い行動する人、調整する人を決めることが大切だと思います。息子と参加し、親が思っているより積極的に何かをやらうとする姿が見られことが良かったです。(大人)
- 参加して様々なことが経験できました。体験・見学ブースでは、水に濡れても大丈夫な畳や日赤の心肺蘇生法の体験、災害現場での写真が良かったです。(大人)